

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2006-172135(P2006-172135A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-363675(P2004-363675)

【国際特許分類】

G 06 F 21/24 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/14 5 1 0 F

G 06 F 12/14 5 4 0 A

G 06 F 12/00 5 3 7 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月1日(2010.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

  入力されるファイルをヘッダ部とデータ部とに分離する分離手段と、

  前記分離手段により分離して得られた前記データ部から、前記ファイルを特定するためのキーワードを抽出し、該抽出されたキーワードをハッシュ値に変換する第1の変換手段と、

  前記第1の変換手段により得られたハッシュ値を前記分離手段により分離して得られた前記ヘッダ部に含まれる情報と関連づけて記憶させる記憶手段と

  を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

  入力されるキーワードを前記第1の変換手段で用いたアルゴリズムでハッシュ値に変換する第2の変換手段と、

  前記第2の変換手段により得られたハッシュ値に基づいて、前記記憶手段に記憶されているハッシュ値を検索する検索手段と、

  前記検索手段により検索されたハッシュ値に関連づけて前記記憶手段に記憶された前記ヘッダ部に含まれる情報を出力する出力手段と

  を更に備えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

  入力されるファイルをヘッダ部とデータ部とに分離する分離工程と、

  前記分離工程により分離して得られた前記データ部から、前記ファイルを特定するためのキーワードを抽出し、該抽出されたキーワードをハッシュ値に変換する第1の変換工程と、

  前記第1の変換工程により得られたハッシュ値を前記分離工程により分離して得られた前記ヘッダ部に含まれる情報と関連づけて記憶手段に記憶させる記憶工程と

  を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項4】

  入力されるキーワードを前記第1の変換工程で用いたアルゴリズムでハッシュ値に変換

する第 2 の変換工程と、

前記第 2 の変換工程により得られたハッシュ値に基づいて、前記記憶工程により記憶された前記ハッシュ値を検索する検索工程と、

前記検索工程により検索された前記ハッシュ値に関連づけて前記記憶工程により記憶された前記ヘッダ部に含まれる情報を出力する出力工程と

を更に備えることを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の情報処理方法をコンピュータに実行させるための制御プログラムを格納したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 6】

請求項 3 または 4 に記載の情報処理方法をコンピュータに実行させるための制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記の目的を達成するために本発明に係る情報処理装置は以下のような構成を備える。即ち、

入力されるファイルをヘッダ部とデータ部とに分離する分離手段と、

前記分離手段により分離して得られた前記データ部から、前記ファイルを特定するためのキーワードを抽出し、該抽出されたキーワードをハッシュ値に変換する第 1 の変換手段と、

前記第 1 の変換手段により得られたハッシュ値を前記分離手段により分離して得られた前記ヘッダ部に含まれる情報と関連づけて記憶させる記憶手段とを備える。